

埼玉県機械工学系奨学生レポート 平成 27 年度 11 月 NBO での今後の活動について

一度雪は降りましたが、11 月に入ってもコートが必要ない日が多いです。11 月は雪が降って外にも出られないと忠告を受けていましたが、例年に比べ今年は暖かいらしく、問題なく生活できています。今月はサンクスギビングと呼ばれる祝日があり、大学で行われたパーティに参加しました。学長も同じテーブルにつき会食する風景は、日本ではあまり見かけない光景だなと感じました。この時期、日本でなじみのないものとしてブラックフライデーと呼ばれるものがあります。これはサンクスギビングデー（11 月の第 4 木曜日）翌日の金曜日のことで、この日には様々な店が一斉にセールを行います。買い物客が殺倒して店が大幅な黒字（Black ink）になることからブラックフライデーと呼ばれています。私も朝 6 時の開店に間に合うように準備をしました。

球技大会

日本では「体育の秋」などとも言いますが、フィンドレー大学でも、部活ではなく、一般学生が参加する体育（球技）大会があります。私は、ジムに通い続けてできた縁で、インドや中国の友人と 3 on 3（バスケットボール）とバレーボールの大会に参加しました。二つの大会に出るため、今月は、週に 4 日はジムに通って試合と練習を行うハードな月となりました。

チームに日本人は私しかいないため、試合中の会話も英語です。パスをもらいたいときは『hey』で通じるのですが、『集中しろ』や『まかせた』などの言葉がすぐに出てきません。また、作戦会議中も、英語での会話がヒートアップしているため中々進言できず大変でした。良いプレーをすると、面識のない観客までが褒めてくれるので、フレンドリーな人が多いことを再確認しました。大会は終わってしまいましたが、ジム仲間として交流は続いています。



試合後集合写真（バレーボール）

フォードミュージアムとエジソンの家

今月は大学の先生から薦められたフォードミュージアムとエジソンの家を観光しました。

フォードミュージアムは大手自動車メーカーであるフォード・モーターの創設者ヘンリー・フォードが計画と建設を手掛けたもので、多数の車のほか飛行機・農耕機・蒸気機関などが展示され、機械の歴史について学ぶことができます。機械が好きな私にはたまらない場所で、時間を忘れるほど見入りました。

私が初めて読んだ伝記がエジソン伝であり、授業でもちょうどエジソンについて学んでいたところだったため、エジソンの家を訪れたときはいつも以上に興奮していました。こちらはフォードミュージアムのように広いわけではなく、二つの建物（エジソンの家とオフィスのある一軒家）だけであり、周りも住宅街であることから、ここが偉人の家だとはいくすぐには気付きませんでした。ガイドの方が一つ一つ説明しながら家を探検していくツアーで、家事のために作られた発明品が多くみられました。発明王の人間味の一端が見られた気がします。



フォードミュージアムの農耕機械

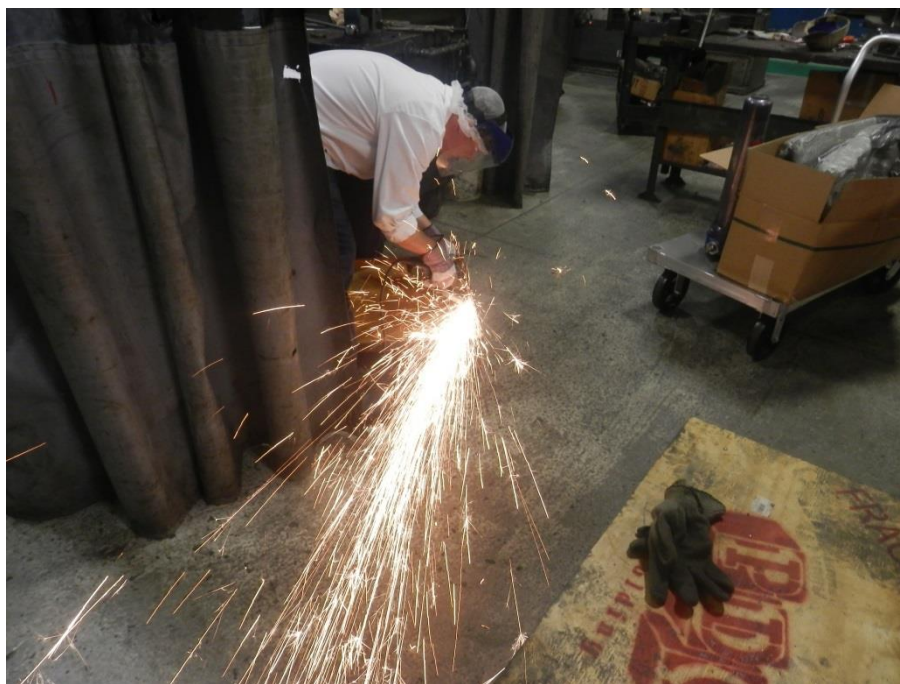


エジソンの家

ニッシンブレーキオハイオでのプレゼンテーション

10月終わりに工場での仕事の手伝いや見学が終わり、新しいプロジェクトが始まりました。自分たちで問題点を見つけて改善を行うことが私たちのプロジェクトです。まず最初に、NBOのエンジニアの方々に前に、今まで体験させていただいたものに関する具体的な問題点と改善案について発表しました。プレゼンテーションの形式などは日本人の上司である小池さんから教えていただきましたが、材質や構造などの必要なデータはアメリカ人のエンジニアや作業員に提供していただきました。言葉だけではうまく要求できなかったため、写真や絵を示しながら、何とかデータを集めました。発表前には、フィンドレー大学のアドバイザーである川村先生やNBOのエンジニアのリックさんに資料のチェックをしてもらいました。特にリックさんは私たちのプロジェクトに協力で、たくさんのアドバイスを頂きました。私たちと同じくらい発表内容を理解しているため、私たちが質問に答

えられないとき、何度も助けられました。最後の方では、私たちをよそに NBO のエンジニア内で議論が白熱していました。結果として、案の約半分が採用されました。下の写真は、安定性または安全性の向上のために、台車の形（デザイン）の変更を行っている風景で、これはそのプロジェクトの一つです。エンジニアに指導してもらいながら加工を行いました。



エンジニアが指導してくれている場面